

# 2016年度 第1回 COI 委員会議事録

日時；2016年10月13日 7時～8時

場所；福岡サンパレス 4F 第2会議室

出席者（敬称略）；前田健（担当理事）、小森博達（委員長）、大鳥精司、千葉一裕、松本守雄、渡辺雅彦

欠席者（敬称略）；川原範夫、西良浩一

## 議題1；COIに関する指針の細則の変更（別紙）

第1条第1項の変更案は承認された。

第3条は英文誌 SSRR の文言を追加することで承認された。

定款等検討委員会での審議をお願いすることになった。

## 議題2；COI 状態の確認作業

委員長から9月中に行われた51名のCOI状態の審査結果が報告された。

特記事項として以下の2点が指摘された。

同一の団体に所属している大学関係者の中に、所属している団体が契約している受託研究の項目が一致していない場合があった。

WGの委員に調査内容に関連したCOIが認められた委員が2名いた。

対応策として以下のことが提案され、審議後承認された。

次回から注意喚起の文面を追加して提出していただくことにするが、一致していなくても直ちに不適切とは判断しない。

COIに関して厳密さが求められるWGの場合には、委員長にCOIがない事、COIのある委員がいても過半数以下であることなどの要件を満たしたほうが良いので、まず自身のCOIを確認後、委員長から前もってCOIの状況についての確認をしてから委員への就任を依頼するようにしてもらうことを周知する。

## 議題3；学術集会抄録を提出する際のCOIの提出について

学術集会のコンベンション会社から、電子化した状態でのCOI関係書類の提出方法が提案され、特定個人情報の取り扱い方法などが委員会で議論され、今後この方法で踏襲していただくことを前提とし承認された。

#### 議題 4 ; その他

会員から学会ホームページにおいて COI 関係書類がまとまっておらずわかりにくいとの指摘があったので、この点を議論し、今後委員長が広報委員会の委員長と検討することとなった。

他にも JSR の投稿規程に COI に関する記載が明瞭でないとの指摘もあり、この点を JSR 委員会に申し入れすることとなった。

文責 小森博達